



返礼品で旅館需要を喚起

老 神温泉旅館組合が取りまとめる宿泊券は、制度が始まって間もない頃から人気の返礼品の一つです。温泉でゆっくりしたい、利根沼田の観光に併せて温泉宿に泊まりたいといった旅行者などに利用される老神温泉においては、秋は片品溪谷に沿って広がる紅葉が素晴らしく、最も人気のあるシーズンです。

2015年から2018年頃、ふるさと納税がメディアで話題になったときには、同温泉も追い風を受け、通常よりも多くの宿泊客が訪れるよ

うになりました。各旅館でインターネットの整備を進めると同時に、市やふるさと納税



上から／宿泊券は12施設から選べる。露天風呂で疲れを癒やして／5月第2金・土曜日に開かれる大蛇まつりで、蛇みこしが温泉街を練り歩く／同温泉のルーツ大蛇をモチーフにした「じゃおう君」。缶バッジやあみぐるみなどが人気

老神温泉旅館組合 ー利根町老神ー

組合長 金子千明 さん(右)
事務局長 井上耕一 さん(左)

のポータルサイトでも、宿泊券が使える旅館として紹介されていることが、顧客集客につながっていました。

しかし、2019年からのコロナ禍による打撃で、宿泊客数は大きく落ち込みました。宿泊券はこれまで市の返礼品ランキングの上位を占めていましたが、この間の申し込みは、大きく減少しました。「いつまで続くのだろう。先が見えずに皆、不安な毎日を送っていました」と、金子千明さんは振り返ります。世の中の動きを見ながら、国の助成事業などを活用し、冷え込んだ観光需要をなんとか取り戻そうと、できることに丁寧に移行してか

ら、宿泊客数は少しずつ回復。県外での物産展などのイベントに参加し、積極的にPRしています。「水上には行ったことがあるけれど、老神温泉は初めて知った」という人も多く、実際に泊まりに来て「良いお湯で気持ちが良い」と、喜んでもらったこともあるそうです。井上耕一さんは「返礼品の申し込みも徐々に増え始めています。リーダーとして再訪してくれる人もいてありがたいです」と、喜びます。金子さんは「宿泊と周辺の観光を楽しめるような返礼品があれば、相乗効果で経済が潤い地域が元気になるのでは」と期待し、温泉街の活気を取り戻そうと意気込みます。

事業者のこだわりや思い 地域と一緒に盛り上げたい

事業者さんの思いが詰まった素晴らしい商品がたくさんあり、交渉や提案を重ねています。商品化になるまでの思いやこだわり、商品が生み出される背景を知ること共感が生まれ、返礼品につなげられたときはうれしいものです。返礼品の魅力と込められた思いを寄付者に伝えていくために、これからは事業者さんに寄り添

い、思いをくみ取っていく必要を感じています。

事業者数や寄付額は年々増えてはいますが、まだまだ伸びしろがあります。ポータルサイトを増やして事業者のサポートを強化、また返礼品にない伝統工芸品などの登録を目指し、沼田の魅力为全国へ発信し、地域活性化につなげていきます。

